

科目名称：	造形教材研究 I	
担当者名：	森田 ゆかり、太田 望	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<ul style="list-style-type: none"> ・教材研究の面白さ・大切さを知る。 ・造形活動を通して自分自身の世界を広げ、自由に「表現」する楽しさを知る。 ・絵本に対する造詣を深める。 		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な素材・用具・技法を応用して使うことができる。 ・表現の手段や方法を対象者・場・ねらいに即して考えられる。 ・感じたことや考えたこと、学んだことなどを、自分なりに表現することができる。 ・調べ学習や教材研究に対して主体的・計画的に取り組むことができる。 		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	
DP (3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
幼児教育DP (1)					0
幼児教育DP (2)					0
幼児教育DP (3)					0
幼児教育DP (4)			50	50	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容 1》 森田 アートスクール講師（2歳児～小学生の絵画・造形指導）	《経験年数 1》 2年6か月
	《内容 2》 森田 アートディレクター（こども対象のワークショップなど企画・実践）	《経験年数 2》 4年10か月
	《内容 3》	《経験年数 3》
	《内容 4》	《経験年数 4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
教材研究	目標を理解し、期待以上に試行・試作・応用することができる。	目標を理解し、試行・試作・応用することができる。	目標を理解し、様々な素材・用具・技法を使うことができる。	目標を理解していない。活動にあまり参加していない。
主体的・計画的取り組み（事前学修を含む）	授業の目標を理解し期待以上の主体的な学修が見られる。	授業の目標を理解し主体的・計画的に取り組んでいる。	授業の目標を理解し主体的・計画的に取り組もうとしている。	主体的・計画的に取り組めない。
教材研究のドキュメンテーション	プロセスやデータを期待以上に分かりやすく記録することができる。	プロセスやデータを分かりやすく記録することができる。	プロセスやデータを記録することができる。	文書が分かりにくい。量が少ない。

授業の目標を理解し期待以上の主体的な学修が見られる。	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 教材研究1 紙コップを遊ぶ ドキュメンテーション演習	「幼児と表現A」「保育内容・表現Aの指導法」の授業内容を復習。	30分
第2回 教材研究2 スクラッチ	「保育内容・表現Aの指導法」第14回の授業内容を復習	15分
第3回 教材研究3 行為を楽しむ	「幼児と表現A」「保育内容・表現Aの指導法」の授業内容を復習。	15分
第4回 教材研究4 素材を楽しむ	「幼児と表現A」「保育内容・表現Aの指導法」の授業内容を復習。	15分
第5回 教材研究5 0,1歳児対象	0,1歳児対象の「素材」「行為」について調べ学習。	30分
第6回 教材研究6 クラフト紙 水張りテープ 紙紐	クラフト紙、水張りテープについて調べ学習	20分
第7回 教材研究7 和紙染め、にじみ絵	「保育内容・表現Aの指導法」第3回の授業内容を復習。	15分
第8回 教材研究8 段ボール	段ボールについて調べ学習。	30分
第9回 教材研究8 段ボール	段ボールについて調べ学習。	30分
第10回 フィールドワーク 絵本研究（小松市立空とこども絵本館）	小松市立空とこども絵本館について調べ学習。	20分
第11回 フィールドワーク 絵本研究（小松市立空とこども絵本館）	小松市立空とこども絵本館について調べ学習。	20分
第12回 教材研究9 スタンプ	スタンプ遊びについて調べ学習。	30分
第13回 教材研究10 感触遊び 寒天	寒天について調べ学習。	20分
第14回 「金城祭」のための教材研究 感触遊び スライム（グループワーク / 電子黒板使用）	スライムについて調べ学習。	20分
第15回 「金城祭」のための教材研究 感触遊び スライム（グループワーク / 電子黒板使用）	スライムについて調べ学習。	20分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、上記内容以外に次回までの小レポートをまとめることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
事前学修10%、教材研究のドキュメンテーション40%、授業への積極的関与50%

課題に対するフィードバック

「ドキュメンテーション」をもとに、グループで「ディスコース」（必要に応じて全体で「ディスコース」）し、次の活動を「デザイン」する授業を行っている（レジジョ・エミリアの「3つのD」 KINJO特化造形表現モデル）。

教科書・参考書

教科書：『美育文化ポケット 第29号～第32号』公益財団法人美育文化協会、『子どもが絵を描くとき』磯部錦司著 一藝社
教科書は授業で適宜使用する
参考書：『実践のまとめ』バックナンバー、必要に応じてプリント配付